

第2章 副専攻制度

第2章 副専攻制度

1 副専攻とは

副専攻とは、修士の学位を授与する研究科で設定された教育課程(カリキュラム)を主専攻と呼ぶことに対し、主専攻以外に設定された教育課程(カリキュラム)である。

本学では、博士前期・修士課程の学生を対象とする副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」がある。

2 副専攻「吉備の杜^{もり}プロデューサー課程」

本学の副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」は、高い専門性と幅広い人間力を涵養することにより、俯瞰的かつ複眼的な視野から本質を捉える、異世代・多文化に対応するコミュニケーション力といったヒューマンスキルを身に付けるとともに、企業現場で即戦力となりうる雑草型リーダーを地域や企業と協働して育てることを目的とする。

なお、後出の表1吉備の杜プロデューサー課程授業科目に示す必要単位数を修得し、【注1】の認定要件を満たした者に『創造戦略プロデューサー』の称号を授与する。

(1) 教育方針

副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」では、若者の地元定着と地域の活性化を図るため、地域の連携体制において分析・検討された産業人材を、教育プログラムの構築・展開を通じて、大学・地域・企業の合体教育により養成するものであり、「吉備の杜」創造戦略プロジェクトのうちの大学院教育に該当する取り組みである。

副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」は、ヒューマンスキルを身に付けることを目的とした講義5科目と演習1科目、さらに地域の産業特性を踏まえ検討された、地域が養成すべき産業人材像に対応して、3研究科がそれぞれ企業と協働して提供する3つの創造戦略プロジェクト(実践型PBL(Project-Based Learning)演習科目)から構成されている。それぞれの科目における「人材像」及び「身に付けるべき資質・能力」は次のとおりである。

<地域産業人材 I (食)>

【人材像】

食料生産や機能性食品開発に向けて、食の安全・安心に対して高い倫理観を有し、農業県である岡山県の特産品の桃やぶどうに代表される食資源開発力に基づく食品の生産、加工、流通、消費を通して、岡山県から広く地域社会及び国際社会で活躍できる食のスペシャリストが求められている。

【身に付けるべき資質・能力】

- ・栄養としての食品の川上から川下のシステムを理解する力
- ・食品関係で得られたデータの解析能力及び応用発展する力
- ・食資源の生産から加工、流通、消費までの広範な視野から課題を発見し、自ら解決できる能力
- ・食のスペシャリストとして、幅広い階層の人と協働し、地域社会や国際社会で活躍できる力

< 地域産業人材Ⅱ (ICT) >

【人材像】

ICT先端基盤技術(組込みシステム、AI)と、これからさらに重要性を増すセキュリティとを融合することを通して、新しい情報システムの創出に取り組み、「おかやま」の地域産業拡大に安全・安心な知能化をもって寄与できる技術者が求められている。

【身に付けるべき資質・能力】

- ・組込みシステム、AI、セキュリティを包含するプログラミング力
- ・工業技術関係で得られたデータを分析し、特徴を抽出、モデル化する力
- ・ものづくり現場での個々の課題を抽象化し、概念化する力
- ・技術者として、多様な分野の人と協働し、持続可能な地域の未来を展望する力

< 地域産業人材Ⅲ (森と木) >

【人材像】

木造建築の素材としての木、木が生まれる森林環境、森林を支える地盤、地盤に建つための木造構造設計技術と大工技術、これらに関わる知識と技術をバランス良く統合する能力を有する設計者が求められている。

【身に付けるべき資質・能力】

- ・森林に対する基礎的な知識と観察力
- ・木の素材としての特徴をつかみ、構造物を構築・評価できる力
- ・おかれた環境の中に様々な素材を統合して建築を作り上げる力
- ・多様な分野の人と協働し、環境空間を提案・実施できる構想力とデザイン力

< 地域産業人材 共通 >

- ・俯瞰的な視野に立ち、物事の本質をとらえる能力
- ・仮説の設定とその検証を可能とするデータ分析能力
- ・地域の資源を理解し、それをビジネスへとデザインできる能力
- ・異世代や多文化に対応できるコミュニケーション能力

(2) 教育課程(カリキュラム)の概要

1. 「時事と歴史を読む」、「知の理論」、「地域資源学」、「地域社会とビジネス」、「データサイエンス」の講義 5 科目と「アカデミック・プレゼンテーション演習」では、本質を見極め、自ら考え、自ら行動できる能力であるヒューマンスキルを身に付ける。
2. 「創造戦略プロジェクト」では、産業界を代表する各企業の課題解決のための研究会に参加するなどの形式により、地域や企業と協働して行う実践型のPBL (Project-Based Learning) 演習を配置し、企業現場で即戦力となるスキルを持つ雑草型リーダーを育てる。

(3) 授業科目

副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」の修了に必要な授業科目は次の表のとおりである。なお、他の研究科のプログラムの履修を推奨する。

表1 吉備の杜プロデューサー課程授業科目

授業科目の名称	授業の方法	配当年次	開講時間数	単位数		必要単位数	
				必修	選択		
研究科共通基盤	時事と歴史を読む	講義	1・2	15		1	6 単 位
	知の理論	講義	1・2	15		1	
	地域資源学	講義	1・2	15		1	
	地域社会とビジネス	講義	1・2	15		1	
	データサイエンス	講義	1・2	15		1	
	アカデミック・プレゼンテーション演習	演習	1・2	30		1	
科目	創造戦略プロジェクト<食>	演習	1・2	120		4	4 単 位
	創造戦略プロジェクト<ICT>	演習	1・2	120		4	
	創造戦略プロジェクト<森と木>	演習	1・2	120		4	

【注1】創造戦略プロデューサーの認定要件

次の(1)及び(2)を満たす大学院生に「創造戦略プロデューサー」の称号を授与する。

- (1) 創造戦略プロジェクト以外の6科目(6単位)と、創造戦略プロジェクトのいずれか1科目(4単位)の計10単位を修得すること。
 - (2) 地域創造戦略センターが認定する公開イベントにおいて、ポスター発表あるいは口頭発表を行うこと。
- ただし、今後変更することがある。

